

第1回 池多小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和6年4月24日（水）

開催時間：19時00分～20時30分

開催場所：池多地区センター

出席者：林会長、中山副会長、奥野監事、田上（和信）委員、山崎委員、松岡委員、有澤委員、高山委員、田上（和彦）委員、岡崎委員、小谷委員

事務局：学校再編推進課長 山崎 悟
学校再編推進課長代理 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第1回池多小学校のあり方協議会設立総会を開催する。
本日、都合により委員2名が欠席している。
(山崎学校再編推進課長 挨拶)

《事務局説明》

【司会】 協議の流れと議論の進め方について事務局より説明する。
【学校再編推進課長】 (協議会の流れ・議論の進め方について説明)

《議事進行》

【司会】 本協議会の協議会長が正式に決まるまでの間の仮の議長を、池多地区自治振興会の会長にお願いしたい。
【会長】 それでは、しばらくの間仮議長を務める。議事に入る。

《議題進行：第1号議案から第3号議案》

【会長】 第1号議案「池多小学校のあり方協議会会則（案）」、第2号

議「役員の選出」、第3号議案「予算（案）」について、一括して議題とする。事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】（第1号議案から第3号議案について説明）

【会長】今の説明について、質問はあるか。

【委員】7条の3項、会議の議事は出席者の総意をもって決議するというのは満場一致という意味か。

【学校再編推進課長】必ずしも満場一致ではなく、会議で総意を決める方法も含めて、この会で決めていただきたいというものである。

【会長】ほかに質問はないか。

それでは、お諮りする。第1号議案から第3号議案について原案のとおり可決することに異議はないか。

（異議なし）

【会長】異議ないものと認める。

よって、第1号議案から第3号議案については、原案のとおり可決する。

本協議会の会長に名いただきますので、一言御挨拶を申し上げます。

（会長 挨拶）

《池多小学校の状況等について》

【会長】本日の議題は以上となる。

今後の協議のため、池多小学校の現状について共通理解を図りたい。事務局から池多小学校の状況について説明を求める。

【学校再編推進課長】（池多小学校の状況について説明）

【会長】今の説明について、質問等はあるか。

【委員】呉羽地区センターで説明会をやったのは、もう2・3年前か。

【司会】令和4年度に実施している。

【委員】呉羽地区センターで説明会をしたとき、当初は、池多、古沢、老田と、あとは順次呉羽小学校へ統合するという話だった。その後の池多小学校での説明会では、一気に呉羽小学校統合する計画になっていた。今はまたいくつかの案が出てきてて、

何がどうなのかよく分からない。

【司会】 最初に言われた池多、古沢、老田で一次統合し、その後に残った寒江と長岡を併せて呉羽小学校に統合するという案は、再編計画を策定する前の原案の段階で考えていた案である。その原案を令和3年度の通学区域審議会に諮った際に、「統合を繰り返すことになって児童の負担が増えるため、一度に5校統合したほうがいい」という意見があったため、再編計画では一度に呉羽小学校に統合するという案で示したものの。現在も、再編計画の呉羽小学校に一度に統合するというはあくまでたたき台である。あとは議論の中で、最終的な方向性について、合意いただきたい。

【委員】 追加で、補足する。
最初は再編計画で示された呉羽小学校への統合という一択だったが、我々PTAと議論する中で、この呉羽小学校一択の場合と、古沢小・池多小学校が2校で統合する場合と、古沢・池多・老田で統合する場合という3案のデメリット、メリットは10月の説明会のときにはもう示されている。そのとき出席している我々としては、大体承服している内容である。

【司会】 幾つか案は提示してはいるが、この協議会の場で再編する、しない、するのであればこういう組合せというところまで合意いただきたい。

【委員】 再編に関する技術的なものは市の方のほうが一番よく知っているはず。案を出してもらった中で、これだったら池多で受け入れられるのかどうかという判断はできると思うが、「うちで決めてください」と言われても、厳しいのではないかと。

【司会】 そういった流れもあり、一応3案を説明させていただいた。

【委員】 それは分かる。それと、ほかの校区のことも教えてもらわないと古沢や老田が池多と全く別の方向へ行っていたとすれば、話しがまとまらない。やはり、私は教育委員会で進めて、案を示してもらいたい。

それと私たち町内会長の立場としての考え方は、学校再編もそうだが、再編して学校がなくなった場合、どうなるのかということを知りたい。

【司会】 なくなった後、地域がどうなるかということか。自治振興会としての組織がどうなるのかということか。

【委員】 小学校の跡地利用のこと。
町内会長としたら子どももいないから学校の統合については分からない。ただ、池多小学校が再編でなくなるのであれば、池多小学校のあり方には興味がある。議論するのはSTEP 3とかその後の話になると思うが、池多としての案をストックしておけばと思う。

【委員】 親世代は早く進めたほうが良いと考えている。意見はまた言って、例えば次の協議会では、学校の跡地利用などの部署も連れてきて意見だけ交換したりとか。

【委員】 個人的にはもう結局、保護者、保育所へ行っている人、子供が小さい親たちの考え方がやはり一番大事だと思う。合併するしない別にして、そこが中心だと思うのだが、私は町内会長としては、では、(学校が)なくなったらどうなるのかという話である。

【司会】 跡地というより、残った校舎ということではどうか。学校でなくなった校舎というのは、市長部局の企画管理部という部局でその財産の活用方法を検討していくことになるが、その検討方法というのも市が勝手に決めるということではないということになっていたはずである。まずは地域の意見を聞いて、どのような活用を希望されるかというのを伺って決めていくと聞いている。

【委員】 その場合は地域に来るのか。こっちから出ていかなければいけないのか。

【司会】 何うことになろうとは思いますが、この場で統合が決まる前に、例えば何になるとかという話は、今はまだできない。まだ子

どもたちがいる中で、「学校をどうこうする」という話というのはまだ早いとは思っている。

【委員】 池多小学校が統合する案がケース1、2、3とあって、案の1（呉羽小学校へ統合）のケースは今のところないのは分かっているのだが、適正な数になるまで池多小学校はこのままという案なのか。つまり、その間、複式学級が継続するということか。

ケース2と3に関しては、最短で2年程度と3年程度とのことだが、これはどういう根拠か。

【司会】 2年間というのは、STEP2やSTEP3での話合いに要する期間であったり、子どもたちは統合が決まったからといってその年度からいきなり統合先で一緒になるわけではなく、統合に向けて交流を重ねていって慣らしていくということをやっていく。そのために要する期間としては、最低でも2年間はあったほうが良いと考えている。

3年というのは、今現在、そのまま池多小学校と古沢小学校の子どもたちが老田小学校に入れるスペースが足りないため、一部、放課後の健全育成室などを別の場所に整備するための期間を少し見ている。

【委員】 朝日小学校は何か認定校を受けているが、この学校も統廃合の対象か。

【司会】 そうである。

【委員】 3案で行く場合は、老田小学校に統合されるということか。

【司会】 老田小学校の校舎に通うということ。

【委員】 別に新しく建てることは考えられるのか。例えば、付近にいいところがあれば。よく冗談で言っているが、ファミリーパークに小学校を建てたらいいのではないかとか、特色のある小学校ができるのではないかと、現実とは別として、そういう考え方もこちらから出してもいいということか。それとも、もう予算とかもあって、老田に統合したほうが良い、せ

ざるを得ないという、場所はそこだよともう決められているのか。

【司会】 これからである。

【委員】 それはここで議論すればいいと思っている。別に意見が出る分にはいいってことでは。それは絵空事だと思われることもこの協議会の意見として出して議事録に残しておくのが大事なところ。

それを本当に議論するのが今なのか、STEP 2なのか。

【司会】 STEP 1の段階でこの協議会で議論してもらいたいのは、まずは自分たちの地区にある学校をどうしていったらいいかというところ。再編に向けてかじを切るのか、しばらくは単独として存続させるのか。もし再編に向けてかじを切るのであれば、どこで「一緒になるか」という話しを進めていくのかというところまでをこの協議会では合意してもらいたい。

【委員】 老田と合併するとしたら、どうやって子どもたちを行かせるつもりか。

【委員】 それもPTAはもう先に知っている。「スクールバスも検討できます」、「(先に統合した学校では) 予算化もして、今もう既に運用しています」という話を既に聞いているので全然心配してない。

【委員】 でも、池多小学校の体育館で説明会があったときに、「あっちこっちでみんな合併になるから、働き方改革もあって、バス大丈夫なの？」と。

【委員】 実際、今統合しているところについては、もう運用させているという実績も聞いている。

【委員】 そうであれば、私たち町内会長で地区の代表で来ているのだが、保護者が、「まずは合併ありきでいいですよ」という話なら、それをはっきり言ってもらえれば、それに合わせていくしかない。私らで判断せよと言われたら、判断しようがない。このまま複式学級で置いていくことも判断を私らできないの

で、親御さんたちが「合併のほうがいいですよ」という話であれば、私らもそれを押していかなければいけない。

【委員】 要望書を出したのは、そういうつもりである。

【委員】 山本公民館で保護者対象に意見交換会をしたとき、「早く複式を解消してほしい」ということを、最後に言われた。

【委員】 それを前面に出して、言ってもらえたほうが。

【委員】 そういうことであれば、あり方協議会もそういうことで、すぐ進めていけばいいのではないか。

【会長】 古沢はどんな動きか

【学校再編推進課長】 古沢は2月1日に（地域協議会が）立ち上がって、これからまだ活動していくことになっている。

【会長】 池多はどちらかというとな父兄が早く複式学級をなくしたいという気持ちがあるのだが、古沢はどんな状況か。

【学校再編推進課長】 古沢も、老田のほうに行くほうで考えていると思われる。

【会長】 事務局にはそのあたりの調整もしてもらいたい。

【学校再編推進課長】 今、古沢もSTEP1で会議が立ち上がっており、協議の内容についてはお伝えし、その反応についてもまた情報提供したい。

《他協議会における活動について》

【会長】 今後はどのように進めていくか、事務局から説明を求める。

【学校再編推進課長】 （他協議会における活動について説明）

【会長】 質問等あるか。

【委員】 今、学校見学会であれば、老田小学校もありかと思う。もう一つは、小規模校でいわゆる特定の小さい学校。今、藤井市長が作りたいて言っていましたそういう認定校というか、そういうのはどういう学校かというのは一つ、我々としては知っておきたい。

それから、先ほどもお話しあったように、もし地元の地域説明会を開くのであれば、小学校がなくなったらどうするのか

という議論になるので、どういう手法があるかとか、関係部局を紹介してもらおうといったこともできたらいい。

【会長】 ほかに、何か意見はあるか。

【委員】 STEP 1では必要ないが、STEP 2になると通学の関係があるため、老田から池多までの地図を用意してもらいたい。地図で見ながら話をしたほうが話が聞きやすい。

【会長】 ほかに意見等ないか。

【委員】 本当にこうやって合併を考えたら、白鳥さんたちとか、リンゴさんがとか、リンゴさんって言ったら何ですが。

【委員】 池多のイメージみたいな。

【委員】 そうそう。何かそこも交えた教育活動をできたらいいのではないか。

【委員】 池多のレガシーをどうやって残していこうかっていうのを議論する場があってもいい。

【委員】 地域で少子化になってお祭りとかの存続が危うかったときに、その地域の学校のお子さんが来て、また少し盛り上がったとかという例も聞いて、なるほどと思った。獅子舞とかも人手が足りないといったときに、そうやって合併した先の子どもも参加できるというものになったら、池多としてはいい。

【委員】 合併することに対しての、地域でのデメリットばかり頭に浮かぶと思うが、合併したことによって、小さいところから、ある程度の小学校に行けるっていったときのメリットみたいなのはあるのではないか。いわゆる、新興住宅地へ行ってうちを建てんでもいいよっていう、この地元に住みながらある程度の人数の学校へ行けるんだという。通うには距離あってバスかもしれないが、逆に残る方法が選択できるようなメリット的なものがあれば、地域の人もある程度納得してくれるがでないかと思うが、そういった資料は出せないか。例えば、統廃合したときに地域の流出が減ったとか。少し前に見たが、中央小学校だったか。

- 【学校再編推進課長】 五番町小学校が中央小学校になったが、そこは若干減ってたかと。芝園小学校が激増している状況だったと思う。
- 【委員】 結局、総曲輪小学校とか、小さいところの小学校が嫌で外に出るといのがあったが、あの辺がくっついたことによって、結局出ずに残るような人が増えて、人数は増えてるっていうのを、前見たような気がするが、統廃合による人口の流出のメリットみたいなものがあれば理解してもらえるかと思う。
- 【学校再編推進課長】 以前、そのデータ見たときは、やはり小学校の統廃合じゃないほかの要因もあるため、一概に学校の統廃合でそうなったという根拠を出すのは難しい。学校の統合を富山市としては最近始めたところで、今年4月に檜尾小学校が八尾に統合したが、それも今統合したばかりなので、複式のあった学校が適正規模の学校に行けるようになってその地区の人口がどうだったかというのは、なかなか示しにくい。
- 【委員】 外から入ってきた私からすれば、ここ池多は交通の便もいいし、高岡、富山に行きやすいし、自然もあってすごくいいところ。だが、甥が結婚するときに、じゃ池多に来いと言ったら、池多は好きだけど小学校の人数が少ないからちょっとと言われた。思った以上にそれがあるようだ。
- 【会長】 ほかに質問等あるか。
なければ、本日はこれで終了とする。
最後に事務局より報告はあるか。
- 【司会】 2回目のこの協議会については、会長と相談の上、改めて案内する。
以上をもって第1回池多小学校のあり方協議会設立総会を終了する。

— 了 —